

いよいよ、今年ことしの復活節ふっかつせつの最後さいごの日ひを迎えむかました。今日は聖霊降臨きょう せいれいこうりんの祭日さいじつで、昇天しょうてんされたイエス様が約束通りさま やくそくどお弟子たちでしに聖霊せいれいを授けられたことを記念きねんする日ひです。この聖霊降臨せいれいこうりんによって弟子たちは使徒しととなり、彼らかれはイエス様が命いのちじられた使命しめいを实践じっせんし始め、イエス様さまについて証あかしする人ひと、その救いすくの福音ふくいんを宣べ伝える人ひととなりました。その結果けっか、使徒たちしとはいたるところで、信じる人しん ひとたちの集いつど、すなわち「教会きょうかい」を立て、その教会きょうかいを中心ちゅうしんとして、神様かみさまの慈しみいつくと愛あいによる救いすくに多くの人々おお ひとびとが与あずかれるようにしたのです。こうして聖霊せいれいによって生まれた教会きょうかいは、あらゆる時代じだいのすべての人ひとに、神様かみさまの救いすくをもたらす共同体きょうどうたいとなりました。そして、今の時代いま じだいの私わたしたちも使徒しとたちと同じ使命しめいを果たすために選ばれて、洗礼せんれいと堅信けんしんを通して聖霊せいれいをいただき、それぞれの生活せいかつの現場げんばで福音ふくいんを告つげ、また、実践じっせんしているのです。改めて、神様かみさまが聖霊せいれいを通して私わたしたちを新しくされ、わたしたちがその聖なる使命せい しめいを果たすことができますようにと、神様かみさまに切せつに願ねがっています。

今日の福音きょう ふくいんで、イエス様さまは弟子たちでしに弁護者べんごしゃである真理しんりの霊れいについて語かたられました。イエス様さまはその話はなしを最後さいごの晩ばんさんの時ときに弟子たちでしに言い聞かせましたが、それはまず、イエス様さまご自身じしんの受難じゆなんと死しを彼らかれに前まえもって知らせ、また、彼らかれが間もなく受けねばならない迫害はくがいに対して準備じゆんびし、恐れおそれずにそれに向き合えるようにするためでした。実際じっさい、弟子たちでしはイエス様さまの十字架じゅうじかじょう上の死しを前まえにし、恐れおそれのあまり我われを忘れたかのようにになりました。そして、絶望ぜつぼうと悲しみかなに包まれて、ある人ひとたちは弟子たちでしの集いつどから離れようともしたのです。しかし、復活ふっかつされたイエス様さまは40日よんじゅうにちに渡わたって弟子たちでしに現あらわれて、その弱よわ果はてた弟子たちでしを力ちからづけてくださり、彼らかれが新あたしい希望きぼうと信仰しんこうのうちに聖霊降臨せいれいこうりんを待ち望のぞむようにと励はげまされました。そしてついに、今日きょう、聖霊せいれいが彼らかれに注そそがれたわけわけです。

今日の第1朗読きょう だいいちろうどくは、その聖霊降臨せいれいこうりんの次第しだいを詳くわしく語かたっています。その日ひ、聖霊せいれいは激はげしい風かぜのような音おととともに、炎ほのおのような舌したの形かたちで、弟子たちでし一人一人ひとりひとりの上うへに下おろされました。このしるしは炎ほのおのような強つよい信仰しんこう、或あるいは、愛あいによって弟子たちでしが清きよくされ、イエス様さまによって全まうされた神様かみさま

の救いを、力強く宣べ伝えるようになることを表すのでしょうか。また、風は神様の霊の典型的な姿ですが、イエス様はかつてニコデモとの会話の中で、「風は思いのままに吹く。あなたはその音を聞いても、それがどこから来て、どこへ行くかを知らない。霊から生まれた者も皆その通りである。」とおっしゃいました。つまり、これから使徒たちは聖霊に従う人となって、聖霊を通して神様が望んでおられる所でイエス様の救いの福音を証しするようになる、ということです。今日の第1朗読はその初めの様子を示していて、彼らはあらゆる国や地方の言葉で、イエス様のこと伝えられたわけですが、こうして、聖霊は使徒たちを通して罪と悪に染まった人々を神様のもとに立ち返らせ、神様の新しい民とされました。その新しい民が「教会」と呼ばれているのです。

しかし、聖霊によって力強く出発した教会の道は、決して楽で易しい道ではありませんでした。それどころか、迫害や反対、そしりや嘲り、妬みと憎しみの的となって、使徒たちを始め多くの信者たちが命を失い、また、あちこち散らされるようになったのです。教会がそのように扱われたのは、信じる人々がこの世に属していなかったからでしょう。つまり、信仰のある人たちとは、イエス様がおっしゃったように、罪と悪に染まっている世に属している人ではなく、神様に属している人であって、それがこの世に属している人たちにとっては我慢できないことだったのです。でも、神様はそういう状況さえ宣教のきっかけとされ、信じる人々は気を落とさず、神様の慈しみと愛による救いを証ししていきました。彼らの証しは、もちろん福音そのものを伝えることであり、或いは、普段の生活の中で愛を実践することによってイエス様を証しすることでした。教会がひどい迫害や反対のさなかでもそのように過ごすことができたのは、皆が聖霊に従っていたからでしょう。教会の人々は今日の第2朗読が語っているように、聖霊に導かれて、聖霊の9つの実である「愛、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制」の実を結び、それを分かち合いながら生活したはずですが、教会の人々は聖霊に力付けられて、使徒パウロが教

えた肉の業や世の中の業、或いは、様々な誘惑や欲望に打ち勝ちました。それは今の時代の私
 たちも見習うべき様子です。事実、ある観点から見たら、今の時代の教会は昔よりもっと巧妙
 な誘惑や迫害に曝されていると思います。神様がくださった真の自由と権利を装った偽りの教え、
 また、イエス様の愛の生き方を軽んずる風潮など、信仰のある人たちの歩みをいつも躓かせよう
 とすることに気を配るべきです。また、私たちにはそれらをわきまえる賢さと、目覚めている
 魂が求められているのです。その為には、私たちは自分がいただいた聖霊により頼まねばなり
 ません。聖霊は神様の息吹ですから、わたしたちは洗礼によって神様から新しい息吹をいただき、
 新しい命に生きているのです。ですから、それを失わないように、いつもイエス様の愛にとど
 まり、聖霊に励まされてその聖霊の実を結ぶ人となるように努めるべきです。

さて、話すという漢字は、「言」と「舌」に分けられ、さらに「舌」は、「千」と「口」に分け
 られます。やはり、人間は数えきれないほどの言葉を口で話す存在です。でも、その言葉が時には
 相手を攻める武器となり、分裂や争い、戦いの種となりかねません。信仰のある人々の舌には、
 ただ一つの言葉が載せられるべきで、それは神様の言葉、イエス様の愛だけでしょう。今日、私
 たちは聖霊降臨を記念していますが、それは単なる記念となっではいけないと思います。今日は
 私たちの上に改めて聖霊が下される日にならなければなりません。それを心に留めながら、こ
 のミサの中で聖霊の訪れと導きを祈り求めましょう。私も、信者の皆さんと心を合わせてお祈
 りいたします。